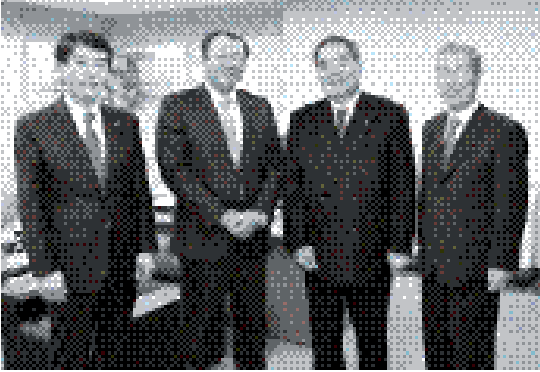


発行所 〒104-0043
東京都中央区湊2-12-6 新ビル
日本海洋少年団連盟
電話 03(3553)1818
(年6回 奇数月の1日)
講読料 1部10円(送料実費)
会員会費には講読料が含まれる
振替東京 5-13846番

海洋少年団通信

Japan Sea Cadet Federation

- ## ちかい
1. 海のような広い心で団結し すべての人を友とします。
 2. からだをきたえ、心を養い 立派な海の子になります。



2月18日(水)午後、長が都内六本木の全日本連盟の草刈隆郎会長、本海員組合本部会館に出向き、森田保己組合長にこの夏に開催予定の第52回日本海洋少年団全国大会への支援、海洋少年団の強化・活性化の協力等をお願いした。

草刈会長が全日本海員組合の森田組合長を訪問

2月18日(水)午後、長が都内六本木の全日本連盟の草刈隆郎会長、本海員組合本部会館に出向き、森田保己組合長にこの夏に開催予定の第52回日本海洋少年団全国大会への支援、海洋少年団の強化・活性化の協力等をお願いした。

草刈会長は、前日に引き続き、今年度の夏に東京で開催する全国大会への支援と賛助会員への加入、全日本海員組合が六本木通りに面した本部会館前に設置する大看板(縦25m、横5m)に海洋少年団を掲示し、多くの人々にPRするとともに、海洋少年団の強化・活性化に多大な協力をいただくことについて森田組合長にお礼と感謝の言葉を述べた。

この会談には、全日本海員組合から田中伸一組合長代行と池谷義之国際局長、日本海洋少年団連盟から野一色修平理事長、堀川信夫事務局長、福田和彦氏が同席した。

平成27年度 国際交流事業決定

平成26年度日本海洋少年団連盟国際委員会が1月31日(土)13時55分から16時20分まで、日本連盟会議室で開催された。

会議は、寺嶋国際委員長(日本連盟理事、前日本連盟副会長)、権藤副委員長(日本連盟理事、副会長、九州北部地区連盟会長)、中川副委員長(千代田区団团长)、橋川副委員長(南勢団团长)、高取委員(北海道地区事務局長、札幌団团长)、浮木委員(八戸団)、上田委員(千代田区団準指導者)、大川委員(港区団指導者)、甲方委員(岩国団团长)及び

び新村委員(南九州地区事務局長、鹿児島団团长)が出席し、今年度の事業報告及び国際交流活動収支概算報告、来年度の事業計画(案)及び収支予算書(案)等について審議を行った。

26年度事業報告
まず、今年度の事業報告について、事務局から会議資料に基づき、派遣事業(カナダ、韓国、香港)、ISC A関係事業(カナダ総会へ草刈会長及び代表団派遣)、セーラーズフォーザシー本部訪問(ニューヨークにて草刈会長がロックフェラー会長と会談)等についての説明があった。また、代

表団としてカナダ総会に参加した橋川副委員長から会議概要の説明があった。

続いて、国際交流活動収支概算報告を行い、いずれの議案も異議なく承認された。

27年度事業について
次に、来年度の事業計画について、事務局から会議資料に基づき次のとおり説明があった。

派遣事業は、派遣を希望する団が全ての経費の負担、航空機、指導者等の手配をする。日本連盟は派遣先との連絡調整等を行い派遣希望団を日本連盟代表として派遣する。

ISC A関係事業は、日本代表団をオランダに派遣する。

これらの事業について、全ての事業が原案どおり承認された。

また、来年度の予算計画については、現在申請中の年賀郵便基金の助成が認められない場合は、事業計画の縮小を条件に原案どおり承認された。

続いて、会長、副会長及び理事長の英文表記を変更することが了承された。

「海の訓練ワークブック」完成

日本連盟が監修した「海の訓練ワークブック」が3月4日に完成した。

「海の訓練ワークブック」は、日本海洋少年団連盟指導要領に基づき海洋少年団活動に必要の記念品とすることを計画している。

本紙は、成山堂書店から定価1780円(税込)で発売されるほか、日本連盟でも販売する。

「第52回全国大会」実行委員会及び小委員会合同会議を開催

日本海洋少年団連盟分中央区立女性会館は、実行委員会及び小委員会合同会議を開催し、第52回全国大会の準備を進めている。

第6回会議は、12月20日(土)13時~16時中央区立女性会館「ブーケ21」にて、第7回会議は、1月24日(土)13時35分~17時東京セントラルユースホステル会議室にて、第8回会議は、2月23日(月)19時~20時35分

必要な知識、技術等を指導者や団員向けに分かり易く解説し、訓練や研修等の参考書として作成した。日本連盟では、各海洋少年団に配付するとともに、今年度東京で開催する全国大会の記念品とすることを計画している。

本紙は、成山堂書店から定価1780円(税込)で発売されるほか、日本連盟でも販売する。

海洋少年団の強化・活性化に向けて(第4報)

海洋少年団の強化・活性化に向けた海洋少年団活性化協議会の開催状況の続報

第8回 12月5日
チーム編成の進捗状況、マスケットキャラクターの選考状況、協議会メンバーの活性化推進策が報告された。

第9回 2月26日
次回の活性化協議会の開催については4月中旬に開催することと団設立やプロジェクト

私たちは海洋少年団を応援します!

機関紙平成27年1月号掲載以降の新規加入賛助会員様

【団体会員】
川崎近海汽船株式会社・大日インベスト株式会社・株式会社商船三井内航・商船三井フェリー株式会社・日本港運株式会社・瀬野汽船株式会社
【個人会員】
兼丸貴成・皆川善一 (順不同・敬称略)

【お知らせ】
平成26年度 第二回通常理事会
【日時】平成27年3月17日(火) 15時~
【場所】日本船主協会役員会議室
平成27年度 第一回通常理事会
【日時】平成27年5月13日(水)
【場所】日本船主協会役員会議室
平成27年度 定時総会・団長会議・臨時理事会
【日時】平成27年6月10日(水)
【場所】ホテルマリナーズコート東京
(東京都中央区晴海4-7-28)

今月の主な記事

2面	平成27年度「我ら海の子展」募集、各国ニュース
3面	韓国派遣感想文、各国ニュース、4コママンガ

平成27年度 国際交流派遣団員募集

各国における募集は次のとおりです。なお、ほかの国からの招待状は順次ホームページに掲載いたします。

1. 今年度の派遣申し込み方法は、昨年度と異なり、単位団ごとのお申込みとなります。ご注意ください。海外との調整は日本連盟が行います。
2. 費用は、参加費の他に、国内移動旅費、国際航空運賃、海外旅行保険、現地における小遣い等がかかります。香港は、朝食以外の食事や観光時のバス代などに別途H\$1500程度現地費用がかかります。

国名	アメリカ	カナダ	韓国	香港
派遣期間	6月23日(火)~7月6日(月)	7月17日(金)~8月3日(月)	7月26日(日)~8月9日(日)	8月2日(日)~8月10日(月)
募集員数	指導者1、団員4	指導者1、団員4	指導者1、団員4	指導者1、団員4
募集締切(意)	平成27年3月31日	平成27年3月13日	平成27年3月30日	平成27年4月30日

【個人会員】
兼丸貴成・皆川善一 (順不同・敬称略)

【お知らせ】
平成26年度 第二回通常理事会
【日時】平成27年3月17日(火) 15時~
【場所】日本船主協会役員会議室
平成27年度 第一回通常理事会
【日時】平成27年5月13日(水)
【場所】日本船主協会役員会議室
平成27年度 定時総会・団長会議・臨時理事会
【日時】平成27年6月10日(水)
【場所】ホテルマリナーズコート東京
(東京都中央区晴海4-7-28)

山口県連盟

☆平成26年度 合同合宿訓練☆

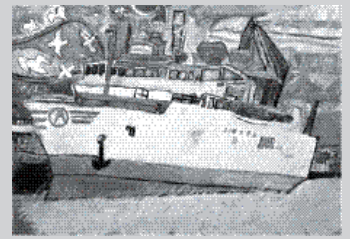
9月14日・15日、山口県下3団の団員指導者36名が集まり山口県連盟主催の合同合宿訓練を岩国市で実施した。今回は今までの合同合宿訓練とは趣を変えて、初日は岩国港にある国際貿易港の見学、夜は標高500mの山の上から天体観測、2日目はインラインスケートなど普段体験できないことを学んだ。

第43回「我ら海の子展」絵画募集!!

～あなたの海はどんな海ですか?～

全国の少年少女の皆さん、海や船の絵を描いてみませんか。「船」「海や船で働く人」をテーマにした児童画を募集します。応募締切は平成27年6月30日(火)。詳細は次のとおり。

- ▲テーマ-船、海や船で働く人、海の世界保全や震災復興など
- ▲応募資格-幼児、小学生
- ▲規定-4つ切画用紙(38×54cm)、タテヨコは問わない
絵の具・クレヨン・貼り絵など自由
裏面に郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、年齢、電話番号、団名及び学校名、学年、幼稚園名、を明記。
- ▲賞 -国土交通大臣賞(予定) 日本海洋少年団連盟会長賞
日本船主協会会長賞(予定) 他
- ▲特別審査員-さかなクン(東京海洋大学客員准教授) 安倍昭恵総理夫人 他
- ▲主催-(公社)日本海洋少年団連盟
(一財)サークルクラブ協会
- ▲送り先-(問い合わせ先)
〒104-0043
東京都中央区湊2-12-6
湊SYビル内
(公社)日本海洋少年団連盟
TEL 03-3553-1818
FAX 03-3555-9385
Eメール jsf@green.ocn.ne.jp



第42回国土交通大臣賞 石川真由さんの作品

敦賀団

☆ロープの結び方体験教室☆

の見学では、岩国海上保安署と門司税関岩国支署の職員から海上保安庁・税関の仕事について紹介して頂き、特に税関職員から薬物の危険の話に興味深く、団員達は聞いていた。夜の天体観測は、周囲に民家のない山中の合宿所で行い、人工の光がほとんどない所で星を見るので、星の明かりを楽しんだ。天体望遠鏡で土星も見ることが出来た。



2日目のインラインスケート体験では、皆初めてこのスポーツを見たようで最初はなかなかビクビクやっていたが、さすがに子供は1時間もすると自由に動き回って楽しんだ。最後に、岩国港の見学では岩国海上保安署のご援助のもと、山九(株)岩国支店、日本通運(株)岩国大竹支店、門司税関岩国出張所のご厚意で、大変有意義な学習となりました。

新春1月10日、40年ほど続いている恒例の耐寒訓練が、地元南勢小・中学校、南島小学校の児童生徒や保護者、一般の方々107名・スタッフ7名、計114名が参加して行われた。



南勢団

☆剣峠を越えて☆

天候にも恵まれ、予定通り午前8時に町民文化会館を出発し、三分の行程の剣峠で休息をし、記念写真を撮った。昨年よりタイムを縮めようと歩く人や、参加者の赤ん坊を背中に背負った高等級団員のほほえましい姿もあり、それぞれの力に応じて伊勢神宮(内宮)を目指した。23・7kmを3時間から5時間半かけてゴールし、到着後は伊勢神宮周辺を家族や友達と楽しみ、二台のバスにて帰途に着いた。中部地区や全国の団員、指導者の皆さんも、初詣を兼ねて参加して頂きます。お待ちしています。

香港派遣感想文

香港国際交流プログラム2014

例え、昼間は香港の事を知ってもらおうとのプログラムとして歴史博物館や街歩きに水上警察等の公式訪問などがあり各団単位での行動が基本でしたが、一転、夜は個人での行動が主でオフィサーと子供達は別行動となる事が多くそれぞれで夕食を食べに行ったりして親睦をそれぞれのペースで深めていった。この夕食から始まる時間

は貴重な時間で皆、この時間で友達になって互いの話をしたりゲームをして遊ぶことで理解しあっていた。あえてプログラムに就寝時間が明記されていない理由がここにあったと感じた。オフィサー同士も例外ではなくこの夜の時間でも色々な事を話してお互いの国の事やオフィサー同士の交流を深めていきました。最後に今回のプログラムに参加してみて気付いた事は私達の団の交流経験不足や各国の情報不足でした。交流経験不足についてはもっと沖繩という環境をうまく利用すれば解消できると気付いた。例えば米軍基地内

国際海洋少年団 交流プログラムに参加して

今回、私は引率者兼通訳者としてこのプログラムに参加させていだきました。今回はこの様な大変貴重な経験が出来るとも感謝しております。

今回、私は引率者兼通訳者としてこのプログラムに参加させていだきました。今回はこの様な大変貴重な経験が出来るとも感謝しております。今回初めて通訳者として海外に行ったのですが、実際に現地でも動いてみて、かなり私は通訳者として力不足であると感じました。他の人との会話やプログラム日程の説明、注意事項などは大丈夫でしたが、各国のオフィサー達との海洋少年団の内容についての会話や、警察消防署本部での説明の通訳が難しく、やはり専門用語やある程度の知識を積んでおくことが必要だと感じました。様々な見学の場でも子供達は理解できずにいたので、そこを私がもう少し上手に通訳出来れば、子供達もより興味を抱いていたかもしれないと思います。そして少し気にかかった点は、日本の子供達があまり欧米の子と上手に打ち解けていないと思つたことです。日本本団員は全員中学生でしたが、他国は高校生が多く、年齢が離れていることや英語力の差が原因だと感じます。しかし、同じアジア圏の韓国と香港の子とはジェスチャーを使いながら上手に交流していました。やはり今回全員初めての海外で、外国人との接し方や英語を話すことの慣れない部分があったのだと思います。活動プログラムの中で、子供達が自然と打ち解ける活動ゲームや各国はらばらなメンバーでグループを組み食事や活動をする等、他の団と交流できる機会を増やしてほしいと感じました。しかし、9日間も様々な活動をし生活することで次第に友達の輪が広がっていき、最後には友達とも話したいと自ら英語を進んで話す様子もうかがえました。きっと子供達にとつて何もかもが刺激的で、世界の中に自分達の仲間がいることの嬉しさや誇りを感じた貴重な経験になったと思います。私にとつても今後の自分の課題や改めて目標を明確に持てた大変貴重な経験になりました。

香港に行つてかんじたこと

宜野湾はごろも団 清水詠之介

7月29日から8月5日まで香港に行つてきました。自分はその間に香港でも貴重な体験をしました。

自分が香港にいった印象は、とても高い町だと思いました。空港ではこれまで見たことがないほど長いエスカレーターが目に入り、町には高いビル、そのむこうには「沖繩には絶対ないだろうな」と思うような高い山がたくさんありました。道路は場所によっては、地面に一本、上に二本の道路が迷路のようにいりくんでました。

そして、香港ではいろんな場所に行き、今まで見たことがないような物を見、新しい知識を得ました。いろいろな場所に行きましたが、そんな中で一番よかったのは、ジオパークです。香港のジオパークは世界で約百個あるものの一つで、神秘的な高層模様が、神秘的な崖が続いている場所でした。

自分は、その場所での学校の地学で習ったことが地球に大きな影響を与えているんだなと思いました。

そして、旅の中でいろんな人にお世話になりました。友達になったり、お世話になったり、一番お世話になった人は、中国人のトクさんです。トクさんは、日本語がとても上手で何度も何度も

International Sea Cadet Exchange Programme 2014に参加つて

宜野湾はごろも団 玉那覇瑛美

私達宜野湾はごろも海洋少年団が、日本を代表して香港に派遣されて、私は最初はとても不安でした。なぜなら、私達はあまり英語を日常的に使わないので、相手にきちんと自分の気持ちが伝わるか、不安で仕方ありませんでした。

そんな緊張と不安とそして、とても楽しみに仕舞ないというワクワク感を胸に抱えながら、香港の空港に着きました。

助けてもらいました。あとは、カナダのベンジャミン、Sea Cadets of Koreaの皆とも仲よくなりました。特に、韓国のパク君とはずっとワンピースのことに話していました。

でも、旅の中で一番強く思ったことは、自分の英語能力の低さです。ネイティブと話すのに必要な能力に達していませんでした。自分はこの旅で英語の大切さをあらためて感じました。これからさらに英語の勉強にせいをだしていきたいです。

そして、自分はこの旅で新しい環境で9日間過ごすことで精神的に大きく成長しました。この旅は香港そして世界中の多くの人の協力によって作られたものです。皆さんありがとうございます。

はとも面白いです。ノリがよくハンジュととも仲よしでした。そして2日目、3日目と過ぎていき、みんな仲良くなったところ、4日目にウォータースポーツでドラゴンボートに乗りました。ドラゴンボートとは、沖繩のハーリーみたいなものでカナダ、韓国、スウェーデンチーム対日本、UK、USAでした。

1回戦は、私達チームが勝つたものの、練習を挟んで2回戦は負けてしまいました。でもUKやUSAの人は、いろんな海の歌を歌ってくれてとても楽しかったです。その後ショウピングに行き、1日が



Exchange Programme, 行った場所・やったこと

宜野湾はごろも団 青山 柘惟

最初に飛行機を降りたとき、あんまり外国に来た感じがしなかった。空港で待っていたルーカスさんは日本語も英語も上手くてすごいなと思った。寮は2階建てで、なかなかキレイだった。同室のマークさんは面白い人だった。

次の日行った海事博物館では説明がよくわ

香港での国際交流について

宜野湾はごろも団 新垣 起輝

「宜野湾はごろも海洋少年団」に入団して7年目になります。今年の4月に中学になり、香港での国際交流に参加できることになりました。僕らの団からは5名が参加することに決まりました。7月27日、香港に到着して最初に地元・香港の団員に会いました。最初に緊張しましたが、宿泊先の学生寮に向かうバスの

初めての国際交流のこと

宜野湾はごろも団 玉那覇 樹

僕達は、海洋少年団として外国での国際交流に行くことになりました。最初は緊張していましたが、香港へ行く日が近づくと、日本代表と会うのが嬉しかった。シャワーがおいしくて、英語が聞きやすくて、とても楽しかったです。僕よりうまく英語が使える

ろんなお店があった。四日目、海に行つた。ドラゴンボートはかたかり力が要り、大変だった。夜に、大人数で龍を動かす行事のようなものをやった。こっちも力が要り、力の無い自分には大変だった。五日目は消防署の水の中訓練所に行つた。水圧をシミュレーションできる機械や水を波立たせることのできるプールを見て、こういうプールが欲しいなあ...と思つた。夜はオリエンタルホテルを買つた。自分達の小説を買つた。読め

中で香港メンバーが話しかけてくれた、すぐに仲良くなれました。初日の夜は香港の街を散策し、寮に戻ってからはルームメイトの香港団の団員と2人で翌日の準備をしました。彼は、9日間を1つの部屋ですごし、人生初のルームメイトとなりました。翌日から、戦跡を巡って戦車や魚雷などを目の当たりにし、日本の海上保安庁のような施設で救助艇

や香港の海について学びました。海で泳ぎ、船に乗り、龍の踊りもされます。また、航空会社に行き、創業当時の話なども聞きました。ほかに、カンフーを教えてもらったり、高い壁をロープで降りたりサバイバルに参加しました。毎日充実して、帰国前日、香港でも五本の指に入る高層ビルの最上階でパーティーをして別れを惜

らない英語などを勉強してました。そして、行く日が近づくと自信が少し減ってしまっていました。その日お母さんにお話を聞いてもらい、お父さんにお話を聞いてもらい、とてもうれしかったです。そして、香港へついたら、ときどき大きな空が、港を見ることがあります。

次の日の5日目の夜は、自由時間をとり、あとの日は香港の戦争の歴史のはく物館へいき、

は「恋するフォーチュンクッキー」を踊った。なかなか好評だった。六日目、壁を下る訓練をした。初めは怖かったけど、なんとか下ることができた。昼は地質学の公園に行つた。ただひたすらに暑かった。午後はカンフーの練習をした。

七日目、大仏を見に行つた。とても長い階段を登るのがつらかった。夕方、マンガ屋に行つた。そこで中国語の小説を買つた。読め

なかった。八日目、歴史博物館へ行つた。科学博物館の方が良かったなあと。夜にパーティーがあった建物が高く、まるでホテルのようだった。夜中にみんなでUNOをやった。いちばん楽しかった。

そして、飛行機に乗って帰った。いろいろ忙しかつたけど、他の国の人との交流は楽しかった。こんな機会をくれた海洋少年団の方々に感謝したい。

しみました。この国際交流で参加した同じ団の仲間とは友情が深まり、海外のメンバーとは拙い英語ながらも互いの気持ちを通じあえたと感じ、貴重な経験ができました。香港の歴史や現状に参加メンバーと同時に経験できて心から感動しました。お世話になった現地メンバー、池原団長はじめ派遣の準備から携わってくれた方々、本当にありがとうございました。

パーティーがあり夜の1時までパーティーをしました。たのしかったです。8日目ショッピングをやりました。夜はパーティーをやりました。そのときはむちゅうでかいました。夜はパーティーをやりました。そのときはむちゅうでかいました。夜はパーティーをやりました。そのときはむちゅうでかいました。

いろいろな歴史やなにかおこつたのかをしりました。次の日は外での観光ショッピングをしました。いろいろなものを売っていました。次の日の4日目マリンスーツを借り海で泳ぎドラゴンボートに行きました。

次の日の5日目の夜は、自由時間をとり、あとの日は香港の戦争の歴史のはく物館へいき、

6日目は、赤いポロシャツで観光をしました。7日目はバースデーパーティーがありました。この日から海洋少年団をがんばります。

韓国派遣感想文

韓国国際交流について

エスコートオフィサー

日本連盟総務部長 道幸 久司



最初に、韓国海洋少年団とその手厚いおもてなしに感謝します。多様な水上活動や新旧の韓国文化を体験した素晴らしい二週間でした。

旅の最初の目的地はテコンドーの教育、術テコンドーの教育、訓練、普及のための大きな施設で、素晴らしい自然を満喫し、迫力満点の模範演技を見学、テコンドーや伝統楽器チャンゴの体験教室で、韓国の伝統文化に触れ

ました。チョンジュ市での制作体験では、個性あふれる面を制作し互いに作品を自慢し、楽しい時を過ごしました。韓屋村の宿舎へ移動、伝統的民家の宿泊体験は興味深かったが、狭い部屋、薄い布団に大きな英国、カナダのオフィサー達をはじめ、全員悲壮な覚悟で就寝しました。伝統的な街並みは美しく、伝統料理も美味しく、作陶体験も楽しかったのに、民宿の印象で残念な思いをしました。

ヨスへ移動し、2012年万博施設の巨大水族館を見学、人混みの中、グループ行動が功を奏し、迷子なしに宿舎へ。翌日、近郊で開催された韓国海洋少年団海上スポーツ大会に参加、海上スポーツを楽しむ、夜は、BIG Oで迫力満点の噴水と映像のスペクタクルを満喫しました。

美しい韓国伝統料理のお別れパーティでは、国籍の区別無く、楽しい時を過ごし、別れを惜しみました。世界のどこかで再会することを楽しみにしています。

を散策、私は体力と相談、日陰で美しい風景を楽しみ過しました。夕刻、トンヨニスセンターへ、これは韓国海洋少年団の自前の施設で、数百人規模の宿泊棟、テニスコート、グラウンド等を備えた立派な施設に驚きました。

この施設をベースに、二日間、二箇所の韓国少年団スポーツ施設でカヤック、ヨット、水泳等を楽しみ、ミルツサンへ登ったり、船で島へ渡ったり、山頂と海上から、美しい島々の景観を楽しみました。

夕食後、小体育館でレクリエーション会が開催され、ゲームや歌と踊りのパフォーマンスが繰り広げられました。終盤、スタッフがケーキを持って入場、佐伯君の海外初サプライズ誕生パーティとなり、ベースデイソングを歌い、ロウソクを吹き消し、ケーキのクリームを顔に塗るハプニングで大いに盛り上がり、お開きと成りました。

この施設をベースに、二日間、二箇所の韓国少年団スポーツ施設でカヤック、ヨット、水泳等を楽しみ、ミルツサンへ登ったり、船で島へ渡ったり、山頂と海上から、美しい島々の景観を楽しみました。

夕食後、小体育館でレクリエーション会が開催され、ゲームや歌と踊りのパフォーマンスが繰り広げられました。終盤、スタッフ

近の自然は手付かずのまま残っており、嘘のような美しさも驚きました。

で、初サプライズパーティを喜んでいました。ソウルへ戻り、DMZ(非武装地帯)の見学へ、首都の隣に、軍事施設、鉄条網、多数の兵士という恐ろしい現実があることを実感しました。それ故、付近の自然は手付かずのまま残っており、嘘のような美しさも驚きました。

ソウルへ戻り、DMZ(非武装地帯)の見学へ、首都の隣に、軍事施設、鉄条網、多数の兵士という恐ろしい現実があることを実感しました。それ故、付近の自然は手付かずのまま残っており、嘘のような美しさも驚きました。

近の自然は手付かずのまま残っており、嘘のような美しさも驚きました。

恒例の初こぎ訓練を実施した。団員と指導者、OB、保護者ら約30人が参加をした。そして6米カタールと警備船に分乗して午前6時20分頃に出る「今年もがんばろう」と誓った。

恒例の初こぎ訓練を実施した。団員と指導者、OB、保護者ら約30人が参加をした。そして6米カタールと警備船に分乗して午前6時20分頃に出る「今年もがんばろう」と誓った。

恒例の初こぎ訓練を実施した。団員と指導者、OB、保護者ら約30人が参加をした。そして6米カタールと警備船に分乗して午前6時20分頃に出る「今年もがんばろう」と誓った。

四日市団

☆元旦初訓練で誓う☆

四日市海洋少年団が1日元旦早朝、四日市港内の伊勢湾で、新春

恒例の初こぎ訓練を実施した。団員と指導者、OB、保護者ら約30人が参加をした。そして6米カタールと警備船に分乗して午前6時20分頃に出る「今年もがんばろう」と誓った。

恒例の初こぎ訓練を実施した。団員と指導者、OB、保護者ら約30人が参加をした。そして6米カタールと警備船に分乗して午前6時20分頃に出る「今年もがんばろう」と誓った。

恒例の初こぎ訓練を実施した。団員と指導者、OB、保護者ら約30人が参加をした。そして6米カタールと警備船に分乗して午前6時20分頃に出る「今年もがんばろう」と誓った。

韓国で学んだこと

横浜団 高田 駿佑

僕はこの企画に参加して、韓国についての文化を学びました。また、海外の人たちとのコミュニケーションを取ることができました。初めて外国に行ったので、最初はとても緊張しました。しかし、みんながやさしくしてくれましたので、だんだんと韓国での生活になれることができました。

韓国の文化では、陶器や韓紙、お面を作り出しました。それに、テ

僕が一番楽しかったことは、水上活動で、みんなと遊んだことです。シーカヤックをこいだり、海で泳いだり、たくさんのおもしろい体験をしました。海の中は冷たかったけれど、体を動かしたことで、体も温まりました。

僕が韓国に行くと、一番成長したこと。それは、大きな目標を持つことができたことです。その目標が達成できるように、一生懸命がんばります。

韓国研修での出来事

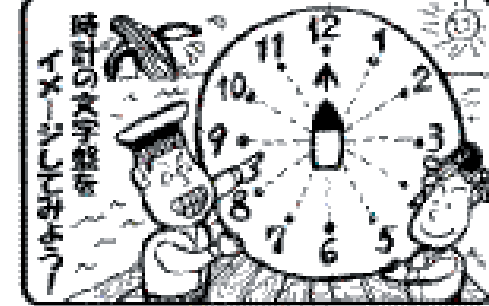
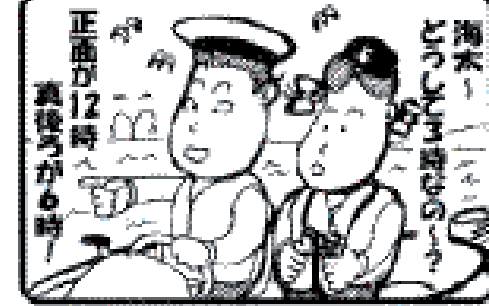
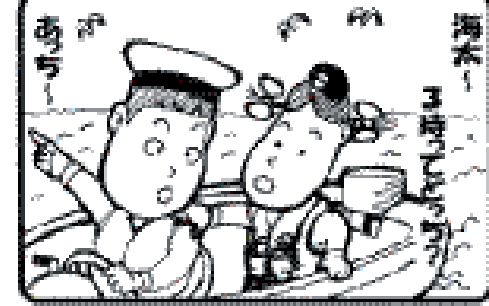
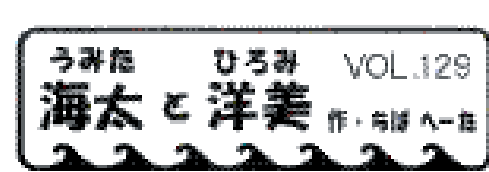
岩国団 佐伯 智正

ソウルに着いて、私は少しの休憩のあとにオリエンテーションをしました。オリエンテーションでは、伝統的なことや通貨のことなどについて、話されました。

私は、ビッグオーショールという物を見ました。そのショールでは、題材がありました。その題材とは、これからの海をどうしていくのかというものでした。確かに、そうだなと思えました。

甲船の中にはレプリカではありましたが、大砲などがありました。しかも、大きな権もありました。

は嬉しくも思いました。今までの人生で、サプライズパーティーなんて、してもらった覚えが無かったです。だから、とても嬉しかったです。



次の日の7月29日にロッテワールドという韓国の遊園地に行きました。その遊園地では、色々なアトラクションを満喫しました。他にも、テコンドーという日本では空手みたいなものを習いました。テコンドーで、習ったものは自己防衛をするためのものでした。

次の日の8月6日に船見学をしました。亀

人の方が居たり、軍人の方にパスポートを見せたりと守りが厳重だなど思いました。

この研修は、私にとってよい経験になりました。行って良かったと思っています。